



イチオシ! 明太マヨトースト

304
Kcal

※1人分あたり



朝起きるのが楽しみになる、海の幸香る彩り鮮やかトースト



(材料) (1人分)
食パン(5枚切り) 1枚
明太子
..... 25~30g

マヨネーズ
..... 大さじ1
刻みねぎ 適量
刻みのり 適量

【作り方】

- ① 明太子は薄皮を取り除き、マヨネーズを加えて混ぜる。
- ② ①をパンに塗り、刻みねぎと刻みのりを散らす。
- ③ ②を3分ほどオーブントースターで焼いてできあがり。

チーズをのせて焦げ色がつくまで焼いてもおいしいですよ。

『歴史資料館資料』 連載⑦知っておきたい 安来市の歴史

安来市立歴史資料館の展示品を通して安来市の歴史を紹介する、このシリーズ。

第7回は、企画展「第一次月山富田城の戦い」開催に合わせ、この戦いに至る経緯と戦いの概要を紹介します。

ときは戦国時代、尼子経久は出雲国を平定すると、美作、備後、播磨、安芸へと積極的に侵攻を繰り返し、支配領域を飛躍的に拡大していききました。尼子氏のこのような動きは、大内氏、毛利氏との敵対関係を生んでいきます。

1540(天文9)年、尼子晴久は毛利元就の居城である郡山城へと兵を進めましたが、毛利軍と大内軍の反撃に合い大敗を喫してしまいました。翌年、尼子経久が亡くなると、これを好機と大内義隆は出雲国へと兵を進めました。1542(天文11)年、大内の軍勢は、赤穴(飯南町赤名)へと侵攻。大内軍が瀬戸山城を落とすと、大内軍を有利とみた国人(地元侍集団の頭領)たちは、こぞつて大内氏へとせま参じました。

翌年の2月、大内軍は京羅木山に本陣を置き、月山富田城への攻



▲月山富田城古絵図(個人蔵)。今回の企画展では、このほかにも個人所蔵の普段見ることができない展示品が集まっています。

撃を開始。これが「第一次月山富田城の戦い」です。菅谷口、金尾、塩谷口で戦いが繰り広げられますが、尼子軍の反撃に合い、大内軍は城内まで攻め入ることが出来ませんでした。この大内軍の劣勢に、大内方に与した国人たちは、尼子方に寝返ることを話し合いました。

同年4月30日、示し合わせていた国人たちは、1500人の兵と共に月山富田城へ。これを契機に形勢は大きく尼子方に傾き、大内軍は山口へ毛利軍は郡山へと敗走。この戦いは、尼子軍の勝利で終わりました。

企画展では、地図などを用いて戦いの様子を詳しく解説。企画展は、9月28日から令和6年3月26日まで歴史資料館2階(要入場料)で開催しています。

問い合わせ

歴史資料館 ☎32・2767

